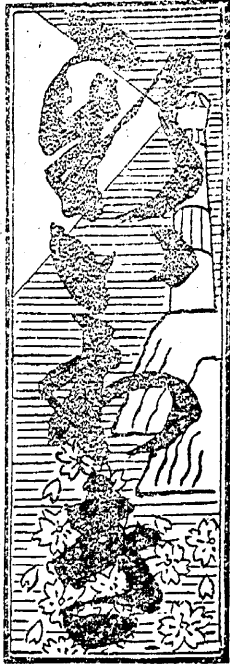


刊夕日二月十



休日 日曜祭日
一ヶ月 廿五
郵税十五 第一二部
印刷部 行四十
発行所 印刷部
編集者 谷 政
印刷所 印刷部
電話 印刷部
新刊 印刷部

一週一言

本紙は去月二十八日の夕刊を以て一週を迎へ愛読者各位の祝辭を受けて貧弱ながら倍大版の記念號を出した、實を云へば當日の同紙上尙ほ幾分の体裁をもつべく心組んでゐたのであるが當日朝の隣の火災地に知友多くそのため本社同人何れも非常な疲勞で意の如くならなかつた事を遅れ馳せではあるが茲に御申譯を陳べさして貰ふ、

一千號の紙幣もより之を大とは思はぬが昭和五年春の財界不況時に産聲を上げて其の後打撃く不景氣の中に此所まで過ぎつゝる苦難難は願ひ願ひして急坂の後をのぞく感がある多い、幸ひにして有士多數の心からなる聲援鞭撻はあつたが其の他のものに於ては單身の經營に不如意なものが多く動もすれば發刊當初の決心が崩れそうなることも一再ではなかつた、

乍然不況尙ほ去らず吾が社の經營はまだ一樂ではないが、多難の途上向後益々多難多事であるに相違ないが絶対に奇利を求めず助を希ふ、

會議費が不足し 萬事書面で付議

木炭組合代議員會

すつたもんだの揚句漸く存續と決定した濱三郡木炭同業組合では今春以來解散存続問題に關して十數回に亘つて會議を開いた結果、會議費の豫算が全くなり存続後の方針を決定すべく九月中旬開催するの代議員會は會議費八百圓の支出困難となつたため議案一組合解散同意書取纏めに關する経過報告の件 二昭和八年度豫算追認 三役員改選の件

郡下の晩秋繭 出廻最盛期に入る

四倉市場取引千貫を突破

郡下の晩秋繭は漸く出廻り期に入り一日の四倉繭市場は出荷二千二百十二貫で賣買人殺到しすばらしい活況を呈した、取引は左の如く演系相場の落

石城劍道界の先輩 室翁謝恩劍道大會

來る十五日磐中で開催

石城劍道會主催第五回石城劍道大會は來る十五日磐中道場で開催、優勝刀などびに優勝旗争奪戦を行ふが席上木郡劍

常識講座

フォーカスと云ふのはレンズや寫眞の焦點のことであるが彼れの説くところは多岐に過ぎなくフォーカスはボケたなどと云つた様な場合には云ふ所が多い爲に焦點がないと云ふこと

櫻岡先生の子で小野派一刀流の達人、磐中劍道部創設時代十餘年に亘つて師範の任に當りその後引つゞき斯道の奨励發達に貢献して來たもので目下平町南町の閑居に餘生を送つてゐるが今回来郷を迎へたのを機に翁の門弟である加藤丈夫、鈴木忠正、河田梅吉、小野寛美、山野邊庄吉の諸氏發起となり謝恩會を起し記念の劍道大會を催した記念品

を贈つて翁の功績に酬ひんとするものである

安藤子來平 舊平藩士を晩餐に招待

磐陽青年總會 磐陽村青年分會では四日前九時から同村小學校で總會を開き草野村の精農家高木誠一郡農會柴田技手の講演をきく

町會近く召集 平町會は七日頃開會、驟前の縣米穀移出検査出張所應舎縮少、寄付採納等を付議する

知事夫人列席 六日愛媛分會幹部會に

磐陽産組創立 磐陽産業組合創立總會は四日午後一時から同村小學校で開

湯本區會議員

湯本町區會議員選舉は一日執行されたが定員十二名に對し候補十五名、激戦の結果左の如く決定した

湯本區會議員

▲當選 二〇島崎三五郎 一八〇片寄金作 一七〇藤岡久一郎 一七〇松原庄一 一六七七佐藤源造 一五九須藤熊雄 一五四若松修一 一五一小野亮 一三八熊澤誠三 一八八木村進一 二一一生田目嘉清 一〇七星辰吉 ▲次點 大井正己 若松孝平 箱崎義一

鐵道野球大會

平鐵道俱樂部主催、平鐵道關係式野球大會は一日午前八時から平商業、平第一兩校庭で舉行、参加九チームで結局車掌チーム優勝した

急告

江名町中の作出身 右本人家事都合にて退社致候 十月一日 堀江工業株式會社 代

急告

五錢奉仕會 九月分 金五錢奉仕會 藤沼平次 郎 新妻善吉 内田節太郎 田村參也 江尻榮次郎 渡部公 横山宗延 野崎滿藏 小林清吉 木澤常松 山田長四郎 大平勇 山口正明 木澤三郎 大和田一二 金十錢關内正一 金六十錢也(ヶ年分)大紫尊一 高橋龜松 諸橋久太郎 合計 二圓七十錢也(以上)

急告

急告 翌日往診して心臓に故障があるのに氣がついた、脈の不整なのも肝臓の大きいのも心臓のためだとわかつたが昨日あ、宣告した許りのに實は心臓病だつたと訂正するわけには行かず強心劑を投與して病名はその儘肝臓病としてしつた、強心劑が奏効して日と日と心臓も小さくなり脈

急告

急告 翌日往診して心臓に故障があるのに氣がついた、脈の不整なのも肝臓の大きいのも心臓のためだとわかつたが昨日あ、宣告した許りのに實は心臓病だつたと訂正するわけには行かず強心劑を投與して病名はその儘肝臓病としてしつた、強心劑が奏効して日と日と心臓も小さくなり脈

急告

急告 翌日往診して心臓に故障があるのに氣がついた、脈の不整なのも肝臓の大きいのも心臓のためだとわかつたが昨日あ、宣告した許りのに實は心臓病だつたと訂正するわけには行かず強心劑を投與して病名はその儘肝臓病としてしつた、強心劑が奏効して日と日と心臓も小さくなり脈

急告

急告 翌日往診して心臓に故障があるのに氣がついた、脈の不整なのも肝臓の大きいのも心臓のためだとわかつたが昨日あ、宣告した許りのに實は心臓病だつたと訂正するわけには行かず強心劑を投與して病名はその儘肝臓病としてしつた、強心劑が奏効して日と日と心臓も小さくなり脈

急告

急告 翌日往診して心臓に故障があるのに氣がついた、脈の不整なのも肝臓の大きいのも心臓のためだとわかつたが昨日あ、宣告した許りのに實は心臓病だつたと訂正するわけには行かず強心劑を投與して病名はその儘肝臓病としてしつた、強心劑が奏効して日と日と心臓も小さくなり脈

急告

急告 翌日往診して心臓に故障があるのに氣がついた、脈の不整なのも肝臓の大きいのも心臓のためだとわかつたが昨日あ、宣告した許りのに實は心臓病だつたと訂正するわけには行かず強心劑を投與して病名はその儘肝臓病としてしつた、強心劑が奏効して日と日と心臓も小さくなり脈

